

令和5年度第1回伊勢市障害者施策推進協議会手話言語等コミュニケーション推進部会 議事録

開催日時 令和5年7月26日(水) 19時00分～20時30分  
開催場所 伊勢市役所東館5-3会議室  
出席委員 倉野直紀 委員長、奥山三重子 委員、山本一枝 委員、大屋隆 委員、大屋真理子 委員  
仲西弘 委員、矢菅朱美 委員、木戸智子 委員、白前加余子 委員  
事務局 高齢・障がい福祉課長、障がい福祉係主査、他1名  
通訳者 手話通訳者2名  
傍聴者 なし

1、委員委嘱

令和5年5月11日から令和7年3月31日まで改めて委員委嘱

2、あいさつ

高齢・障がい福祉課長よりあいさつ

3、伊勢市手話通訳者派遣事業について

【各委員の主な意見】

- 交通費について、他市と比べても10円以上安い。  
⇒課内で協議したい。
- 派遣件数の内、設置通訳者が通訳に入った件数は何件か。  
⇒2件程度。
- 現在登録している通訳者の稼働数は。  
⇒1名休養中。それ以外で派遣件数ゼロの登録通訳者はいない。

3、伊勢市要約筆記通訳者派遣事業について

【各委員の主な意見】

- 行事等に手話通訳は付いているが、要約筆記がないのはなぜか。  
⇒基本的に依頼元の判断になるが、依頼を受け付ける際に必ず確認している。
- 最近では申し出がなければキャンセルとなる依頼が多い。対象者がいてもいなくても、手話も要約筆記も付いていることが理想。  
⇒まだ完全申込制の行事も多い。これからも、依頼の際に両方の通訳が付くよう勧めていく。
- 要約筆記体験講座について。県の養成講座が始まるので、体験した方が申し込めるようホームページ等でPRしてはどうか。  
⇒お知らせしていく。
- 伊勢市の方で要約筆記統一試験に合格した方がいるが、伊勢市に登録したか。  
⇒現在のところ、登録のお申し出はいただいていない。
- 要約筆記体験講座について、要約筆記者の養成だけではなく、難聴について知る機会にしてもいいと思う。伊勢市聴覚障害者福祉協会でも話し合いたい。

#### 4、伊勢市手話言語条例にかかる施策について

##### 【各委員の主な意見】

- 難聴者について紹介しているアニメーション（動画）があった。観てもらおうと理解してもらえる人が増えるのではないかな。
- ⇒内容を確認し、要約筆記体験講座等で紹介したい。
- 小学校手話体験教室、保育所手話教室などを選ぶ基準は何か。
- ⇒開催依頼に応じ、日程等を調整している。
- 小学校手話体験教室について、松阪市では市内36校を何年かかけて実施すること。
- ⇒年度初めに教育委員会から呼びかけをしているが、実施依頼のない小学校には直接声をかけるようにしている。今後もできるだけ全ての学校へ行けるよう努めたい。
- 観光振興課が今年度取組予定している「観光施設におけるこころのバリアフリー認定制度」の説明会とあるが、誰が講師をするのか。聞こえない人にとっての観光施設のバリアは「音声情報のみ」であること。その辺のことも含めて話してほしい。
- ⇒講義内容等は現在調整中。事業所向けに説明会を開催。内容については、高齢・障がい福祉課と相談しながら決めていきたい。
- 今後は、コーダ（両親が聴覚障がいのある子ども）やヤングケアラーについての問題について我々も話し合うべきかと思う。

#### 5、その他

##### ●手話言語の国際デー（9/23）

- 手話言語啓発デーとは何か。手話に関わる団体（サークル）で学習できる場を設けたい。
- 名古屋でお菓子を販売している聴覚障がい者がいる。その人と呼んで、色々な人が集える場にしてはどうか。
- 他県ではサッカーの観戦前に手話のイベントをしている例がある。伊勢にもサッカーチームがあるので、試合前に手話のイベントをしてはどうか。
- ⇒検討する。

##### ●映画「咲む」上映（12/16）

- 映画上映前に短時間のサイドイベントとして、映画中に出てくる手話を学習してもらってから、上映する。